

和歌山県 話題事項
令和8年 1月20日
資料提供済
令和8年 1月15日

知らないオドロキが色々色々

聖地リゾート!!!!!!
Seichi Resort
WAKAYAMA
和歌山

企画展「万博のレガシー -解体と再生、未完の営為を考える-」を 県立近代美術館で開催します！

19世紀の初期万博から1970年の大阪万博までの歴史等を当時の貴重な資料でたどるとともに、県立近代美術館の設計者である黒川紀章氏の理念や仕事に焦点をあて、建築の視点からも万博を読み解きます。

また、「大阪・関西万博」に出展された和歌山ゾーンのシンボル「トーテム」をはじめ、現地で展示された押し花アートや高野口パイルのソファ等もご覧いただけます。

さらに、2月14日（土）～15日（日）にはオープニングイベントを開催。万博テーマソング等の演奏や万博会場にて振舞われた食を期間限定で再現します。

【企画展】「万博のレガシー -解体と再生、未完の営為を考える-」

2月14日（土）～5月6日（振休）

【オープニングイベント】 ～和歌山で万博の感動を再び～

2025年大阪・関西万博閉幕から4か月。万博会場で感じた高揚感、世界との繋がり、未来への期待、それらを再び体感できる「オープニングイベント」です！

- 内容：1. オープニングアクト（2月14日 9時30分～）@美術館前広場
 - ・海南児童合唱団による万博テーマソング等の演奏
 - ※9時30分のオープニング以外にも複数回出演
- 2. トークセッション（2月14日 14時～）先着50名 @美術館 2Fホール
 - ・万博和歌山ゾーンを彩ったクリエイターによるトークセッション ※申込不要（吉本英樹 × 東福太郎 × 柊早苗）
- 3. 食の祭典（2月14日・15日 9時30分～17時）@美術館前広場
 - ・万博でふるまわれた味を再現

【企画展関連イベント】 申込：当日9時30分から整理券配布

1. 2月15日（日）14時～16時@美術館 2Fホール
 - ・タカラベルモントプレゼンツ『スペシャルトーク』
 - コシノジュンコ（デザイナー）
 - コメンテーター：本橋弥生（京都工芸繊維大学准教授）
2. 3月8日（日）14時～16時@美術館 2Fホール（予定）
 - ・記念講演会 隈研吾（建築家）
 - ・トークセッション 建畠哲（美術評論家）× 隈研吾 × 吉本英樹
3. 3月15日（日）13時～15時@美術館 2Fホール
 - 講演会「万博とはなにか ―1970年大阪万博が映し出した社会―」
 - 鯉沼晴悠（金沢工業大学五十嵐威暢アーカイブ学芸スタッフ）
 - 木原天彦（渋谷区立松濤美術館学芸員）

2/14はミャク
ミャクも登場！



©Expo 2025
大阪・関西万博公式キャラクター
ミャクミャク

（問い合わせ先）

オープニングイベント 万博推進課 庄司・光成 TEL：073-441-2703

企画展関連イベント 県立近代美術館 井上・田村・芦高 TEL：073-436-8690

The Legacy of World EXPOs

Reflections on Demolition, Regeneration, and Unfinished Endeavors

万博のレガシー

——解体と再生、未完の営為を考える——

人類の
進歩と
調和

万博と日本グローバリズムの光と影



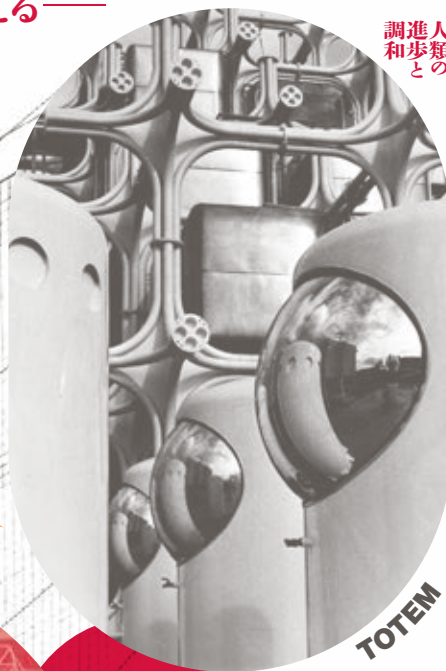
メタボリズム

METABOLISM

メタボリズムと共生
黒川紀章(1920-2008)
を中心に



CAPSULE



TOTEM

進歩
と欲望



幻の万博

トータル



万博に託された理念や付随する今日的課題



新陳代謝



創造と解体をくりかえす万博の特異な祝祭空間

協力 株式会社黒川紀章建築都市設計事務所・タカヘルメント株式会社 株式会社乃村工藝社

2026.2.14 SAT - 5.6 WED

開館時間：9時30分—17時（入場は16時30分まで） 休館日：月曜日（祝休日の2月23日、5月4日は開館）、2月24日〔火〕、4月1日〔水〕—5日〔日〕（空調改修工事のため）

観覧料：一般600(480)円、大学生330(290)円

※()内は20名以上の団体料金 ※高校生以下、65歳以上の方、障害者手帳をお持ちの方は無料 ※2月28日、3月28日、4月25日（毎月第4土曜日）は「紀陽文化財団の日」として大学生無料 ※3月1日、5月3日（毎月第1日曜日）は無料観覧日

1872

1970

2025

和歌山県立近代美術館
THE MUSEUM OF MODERN ART, WAKAYAMA



万博のレガシー

—解体と再生、未完の営為を考える—

Reflections on Demolition, Regeneration, and Unfinished Endeavors

2026.2.14 SAT 5.6 WED



1

2025年、「いのち輝く未来社会のデザイン」を統一テーマに「日本国際博覧会（大阪・関西万博）」が開催されました。1851年に圧倒的な工業力を世界に示すためロンドンで誕生した国際博覧会（以下、万博）は、参加国が自国の文化や高い技術力を発信する一大催事として今日まで世界各地で行われてきました。それは同時に、植民地問題、民族問題、環境問題など国際社会が抱えるさまざまな矛盾と葛藤を内包してきました。万博の変遷は、19世紀から21世紀を迎えて四半世紀の現在に至る西洋近代主義のグローバル化の光の軌跡であると同時に、20世紀のふたつの世界大戦に象徴される文明の影と不可分の歴史であると言えるでしょう。近年の万博では、参加者にも現代社会がはらむ数多の課題について考える姿勢が求められています。

本展は、創造と解体をくりかえす万博の特異な祝祭空間について2部構成でふりかえります。第1部【万博と日本 グローバリズムの光と影】では株式会社乃村工芸社の博覧会コレクションを中心に、日本との関わりに重点をおき、19世紀の初期万博から1970年大阪万博開催までの歴史や会場空間の変遷をたどり、今日的視点からその意味を探ります。第2部【メタ



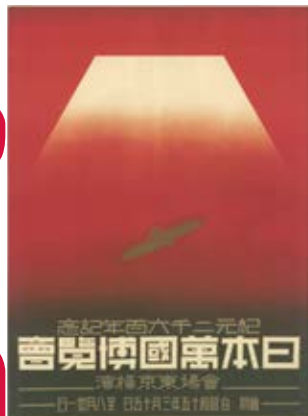
2

ポリズムと共生 黒川紀章のEXPO'70を中心に】では「人類の進歩と調和」を統一テーマに掲げた1970年大阪万博において「メタポリズム（新陳代謝）」という建築理念をキーワードに複数のパビリオン設計に関わり、1990年代に当館の設計を手がけることになる建築家・黒川紀章の仕事を、今回の万博の統一テーマにも連なるその先見性と合わせて紹介。さらに、大阪・関西万博にて和歌山ゾーンに出品されたアートワーク「トータル」を特別展示いたします。

万博に託された理念や付随する今日的課題にもふれる本展は、万博のレガシー（遺産）について来場者の皆様とともに再考する機会となるでしょう。

表：中央＝EXPO'70空中テーマ館【模型写真】1968年（撮影：新建築社写真部）、右上・右下＝EXPO'70タカラ・ビューティリオン 1970年（撮影：黒川紀章建築都市設計事務所）、その他＝黒川紀章EXPO'70関連写真（撮影：大橋富夫）、背景＝黒川紀章（和歌山県立近代美術館 打合せ図 B底下アコンノメトリック図）1993年

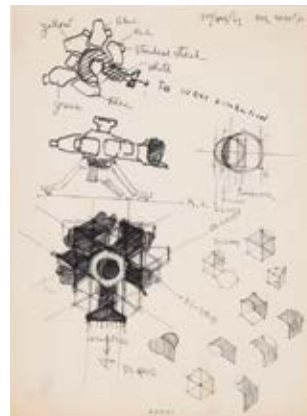
全て黒川紀章建築都市設計事務所蔵
裏：1.吉本英樹（EXPO2025 和歌山ゾーン「トータル」）2025年、2.栗津潔（黒川紀章の作品【ポスター】）1970年 美術出版社刊 個人蔵、3.中山文孝（紀元2600年記念 日本万国博覧会【ポスター】）1938年 京都工芸繊維大学美術工芸資料館蔵 AN. 2694-37、4.昇竜一景（元ト昌平阪聖堂ニ於て博覧会図）1872年 乃村工芸社蔵、5.黒川紀章（EXPO'70空中テーマ館住宅カプセル【スケッチ】）1969年 黒川紀章建築都市設計事務所蔵、6.黒川紀章（EXPO'70タカラ・ビューティリオン【模型】）1968年頃 タカラベルモント蔵



3



4



5



6

2
0
2
6
年
3
月
8
日
(日)

2【記念講演会】14:00-15:00
隈研吾（建築家、東京大学特別教授・名誉教授）
2【トークセッション】15:00-16:00
建畠哲 × 隈研吾 × 吉本英樹
（美術評論家）（建築家）（デザイナー）



* 当日9時30分より整理券を配布します。その他、詳細が決まり次第、当館ウェブサイトで公開します。

2
0
2
6
年
2
月
15
日
(日)

タカラベルモント プレゼンツ
【スペシャルトーク】
14:00-16:00
コシノジュンコ（デザイナー）
コメンテーター：本橋弥生（近現代ファッション文化史、京都工芸繊維大学准教授）



◎JR和歌山駅から：バスで約10分、「県庁前」下車、徒歩2分
◎南海電鉄和歌山市駅から：徒歩15分／バスで約10分、「県庁前」下車、徒歩2分
◎南海電鉄なんば駅から和歌山市駅まで特急で約1時間
◎JR新大阪駅・大阪駅からJR和歌山駅まで特急で約1時間
◎駐車場：2時間まで無料、以後30分ごとに100円

【同時期に開催中の展覧会】

MOMAWコレクション 関西の戦後美術（2月14日[土]～5月6日[水・休]）
MOMAWコレクション 現代の美術 第6期（1月31日[土]～3月31日[火]）ほか

和歌山県立近代美術館
THE MUSEUM OF MODERN ART, WAKAYAMA



<https://www.momaw.jp>



〒640-8137 和歌山市吹上1-4-14 tel. 073-436-8690 fax. 073-436-1337

EXPO LEGACY EXHIBITION

オープニングイベント
OPENING EVENT

万博レガシー展

2026.2.14 ^{SAT} 9:30-17:00 和歌山県立近代美術館 (和歌山市吹上 1-4-14)

和歌山で万博の感動を再び 万博閉幕から4か月。万博ファンも、これから知る人も大歓迎！



9:30
@ 美術館前広場

海南児童合唱団による オープニング演奏

※9:30のオープニング以外にも複数回出演



14:00
@ 2F ホール

トークセッション



吉本 英樹氏

東京大学・先端科学技術研究センター特任准教授。Tangent (英国) ファウンダー。デザインと工学の両分野で受賞多数。伝統工芸と先端技術を繋ぐ国際的なイニシアティブ「Craft x Tech」を創立。



東 福太郎氏

家具のあづま (紀の川市) 代表取締役。桐箆箆職人として活躍する一方で、桐の特性を生かした雑貨ブランド「ME MAMORU」を立ち上げ、海外展開にも積極的に取り組む。



柊 早苗氏

LivLuxe (東京) フラワーデザイナー。和歌山県出身。空間を演出する花の美に惹かれ、フラワーデザインの世界へ。オーダーメイドのギフトをはじめ、有名企業や大手代理店の依頼によるイベント装飾等を手掛ける。

食の祭典 2.14 ^{SAT}・15 ^{SUN} 9:30-17:00 @ 美術館前広場
大阪関西万博でふるまわれた味を再現



ワフルハウス
オランダのストロープワッフル



画像はイメージです

くら寿司
世界の料理人気6種セット



画像はイメージです

福菱
生かげろう



伊藤農園
100% ピュアジュース

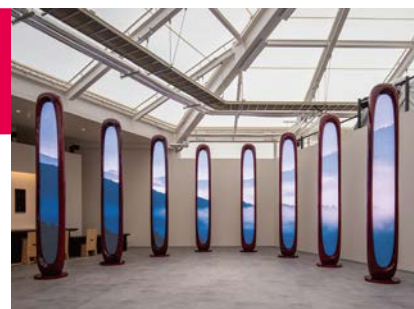


BRING BOOK STORE
コーヒー、焼菓子

開催中「万博のレガシー —解体と再生、未完の営為を考える—」

2.14 ^{SAT} - 5.6 ^{WED}

万博の歴史を貴重な資料でたどるとともに、1970年大阪万博のパヴィリオンを複数でがけ、和歌山県立近代美術館・博物館を設計した世界的建築家 黒川紀章に焦点をあて、その作品をふりかえります。
また2025年大阪・関西万博の和歌山ゾーンで出品された「トーテム」などを特別展示します。



お問い合わせ

オープニングイベント 和歌山県万博推進課
企画展「万博のレガシー」和歌山県立近代美術館

TEL 073-441-2703
TEL 073-436-8690

